

# 太陽光発電チーム

武内祐磨・上川路尚登

## プラン

将来主力となる再生可能エネルギーとして、太陽光発電を促進する。

### 【太陽光発電の特徴】

- 1・温室効果ガスの排出量を削減できます  
発電そのものには燃料が不要で、運転中は温室効果ガスを排出しません。
- 2・エネルギーの自給率を向上させます。  
生産などに要したエネルギーよりずっと多い電力を生み出します。
- 3・昼間のピークの電力供給に適します。  
需要の大きい昼間にだけ発電し、夜間の余剰電力を増やしません。
- 4・暮らしの側で役に立ちます。  
腕時計から人工衛星にいたるまで、様々な場所や規模で電力を供給できます。
- 5・産業として将来性があります。  
太陽光発電の市場規模は、年4割という速いペースで拡大しています。

### 参考文献

・産総研：太陽光発電研究センター

[http://unit.aist.go.jp/rcpvt/ci/about\\_pv/feature/index.html](http://unit.aist.go.jp/rcpvt/ci/about_pv/feature/index.html)

太陽光発電チーム資料

表 各エネルギーの発電コスト

エネルギー		2010 年	2020 年	2030 年
風力	陸上風力	9.9～17.3		8.8～17.3
	洋上風力		9.4～23.1	8.6～23.1
地熱		8.3～10.4		8.3～10.4
太陽光	住宅用太陽光	33.4～38.3		9.9～20.0
	メガソーラー	30.1～45.8		12.1～26.4
小水力		19.1～22.0		19.1～22.0
木質バイオマス	木質専焼	17.4～32.2		17.4～32.2
	石炭混焼	9.4～9.7		
石炭火力		9.5～9.7		10.8～11.0
LNG 火力		10.7～11.1		10.9～11.4

注)石炭火力、LNG 火力は設備稼働率 80%の場合

出典:「エネルギー・環境会議コスト等検証委員会報告書」

(<http://www.npu.go.jp/policy/policy09/pdf/20111213/siry01.pdf>)